

導入マニュアル

LineTouchAlert

目次

- 導入編
 - LineTouchAlert.ex4 をMT4へ保存方法
 - Windows OSの場合
 - MAC OSの場合
 - LineTouchAlert.ex4 稼働方法
- LineTouchAlert.ex4 について
 - パラメータ設定
 - ラインタッチ
 - メール設定

導入編

MT4へ保存方法 手順1

※こちらはMT4を起動して、デモ口座または本口座にログインができている状態が前提です。

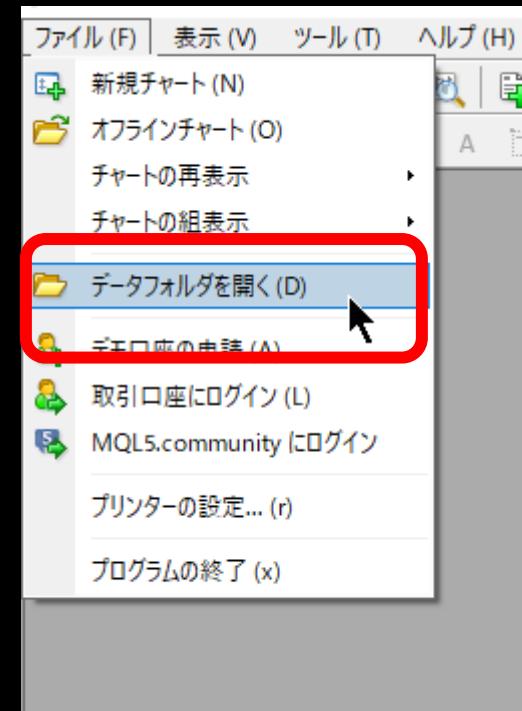
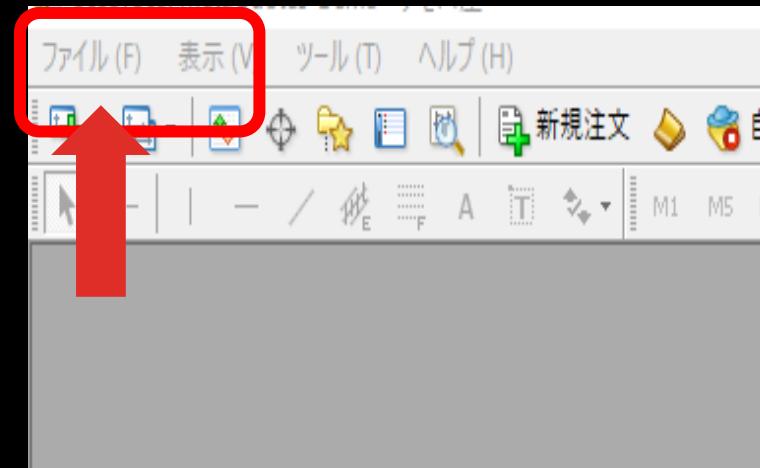


Windows OSの場合

MT4へ保存方法 手順2

1、MT4の左上の「ファイル」をクリックします。

2、「データフォルダを開く」をクリックします。



Windows OSの場合

MT4へ保存方法 手順3

- 1、「MQL4」フォルダを開きます。
- 2、「Indicators」フォルダを開きます。
- 3、「LineTouchAlert.ex4」をここに保存します。
- 4、保存ができましたら、閉じてMT4を再起動させます。

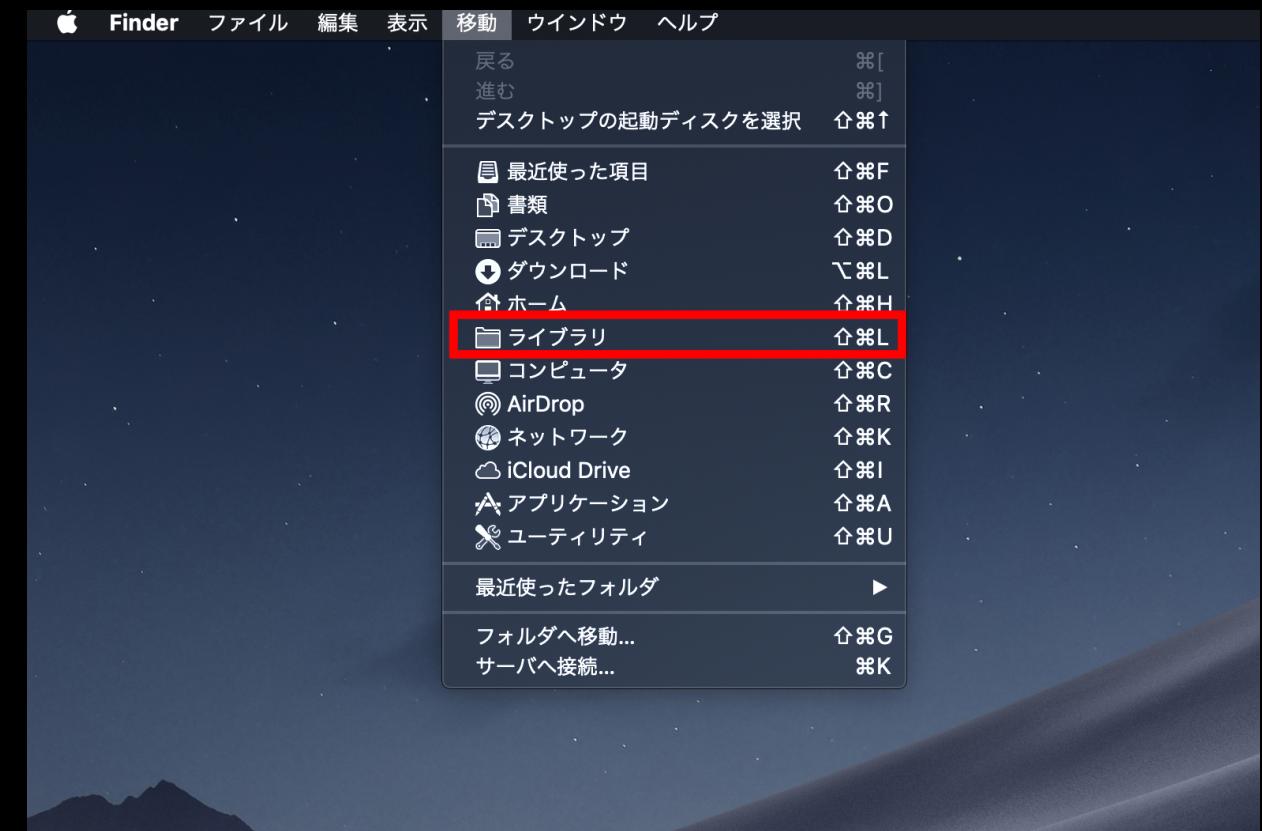
名前	更新日時	種類	サイズ
config	2018/09/09 22:56	ファイル フォルダー	
history	2018/09/05 0:45	ファイル フォルダー	
トピック	2018/09/09 21:17	ファイル フォルダー	
MQL4	2018/09/10 1:29	ファイル フォルダー	
profiles	2018/09/09 22:56	ファイル フォルダー	
templates	2018/09/04 23:41	ファイル フォルダー	
tester	2018/09/06 12:28	ファイル フォルダー	
origin.txt	2018/09/04 23:41	テキスト ドキュメント	1 KB

名前	更新日時	種類
experts	2018/12/19 13:21	ファイル フォルダー
Files	2018/12/21 16:19	ファイル フォルダー
Images	2018/10/06 21:57	ファイル フォルダー
Indicators	2018/12/24 16:56	ファイル フォルダー
indicators	2018/12/24 16:56	ファイル フォルダー
libraries	2018/12/19 13:21	ファイル フォルダー
logs	2018/12/24 5:43	ファイル フォルダー
Presets	2018/10/06 22:03	ファイル フォルダー
Projects	2018/09/04 9:59	ファイル フォルダー
Scripts	2018/12/19 13:21	ファイル フォルダー
Shared Projects	2018/09/05 0:47	ファイル フォルダー

Macの場合

MT4へ保存方法 手順1

- Finderを開く
- Optionキーを押しながら、画面上部のメニューにある「移動」をクリック
- (まだOptionキー押したまま)「ライブラリ」をクリック



MT4へ保存方法 手順2

- Application support
- com.XM.MACMT4～ (以下略) ←フォルダ名が長い。

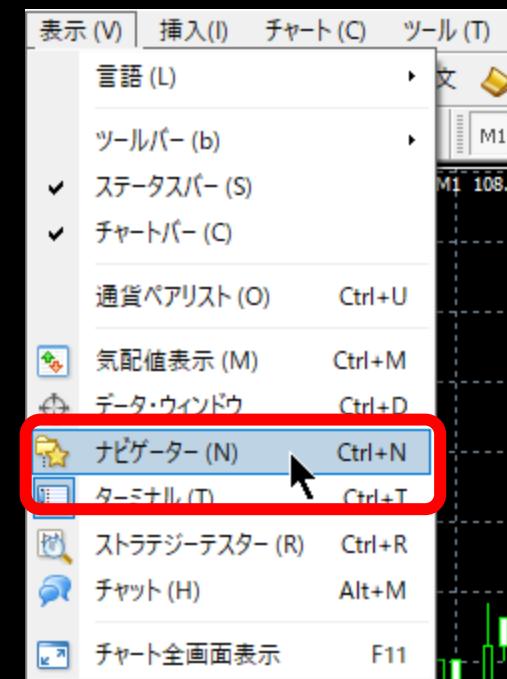
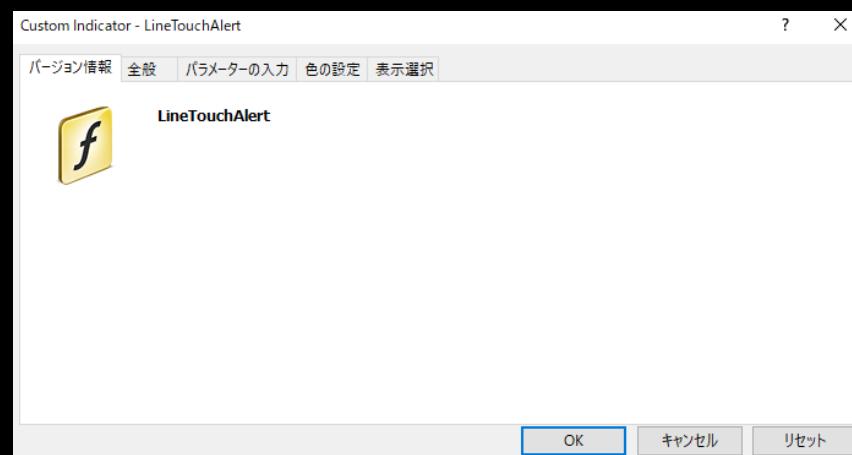
例 「com.XMTrading.MACMT4～」

- drive_C
- Program files
- XMTrading MT4
- MQL4
- Indicators

Indicatorsフォルダを開いてLineTouchAlert.ex4をマウスで ドラッグ・アンド・ドロップすれば完了です。

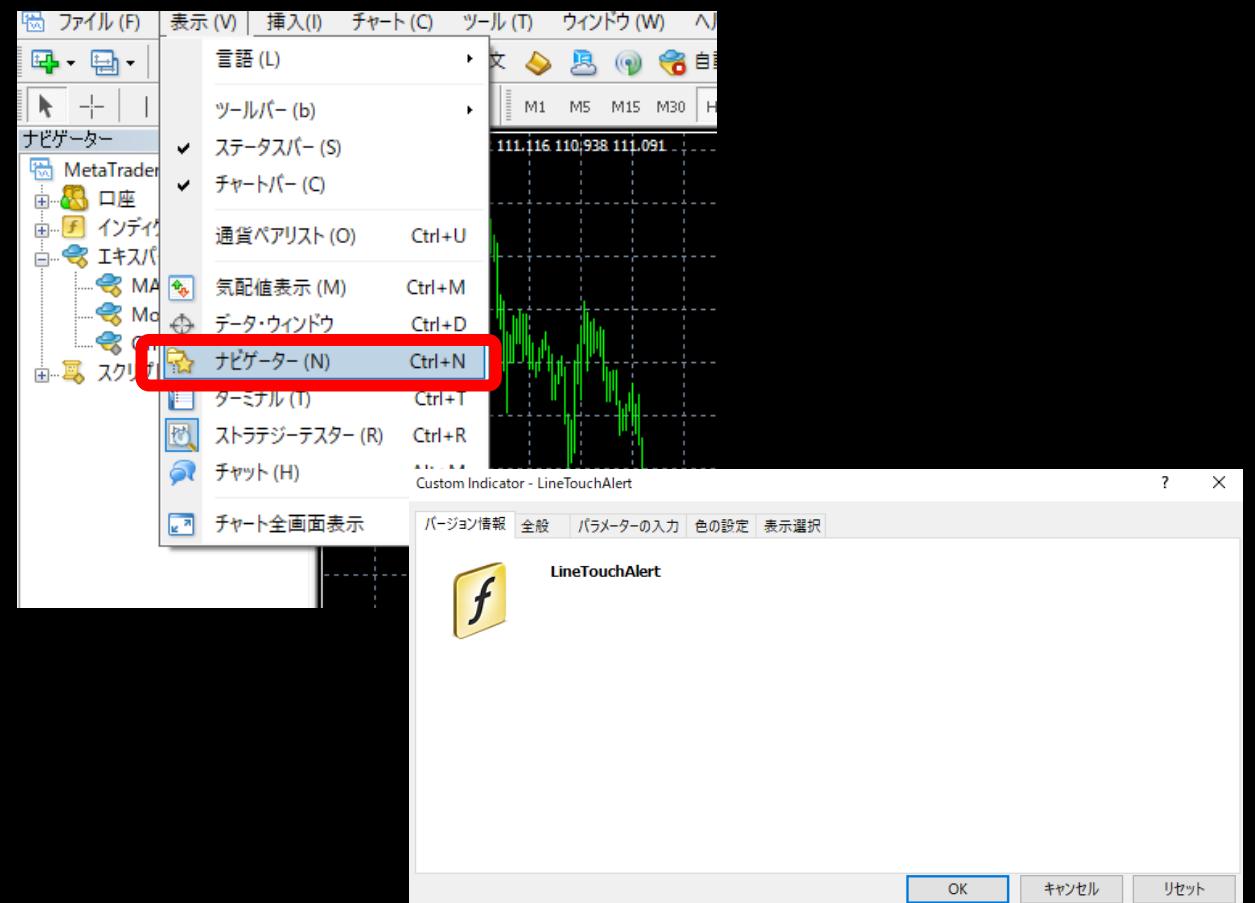
稼働方法

- MT4上部の「表示」→「インディケータ」をクリックします。
- 表示されたナビゲーターから「インディケータ」にある「LineTouchAlert.ex4」を選択してコピー＆ドラッグしてチャートに適用します。



稼働方法

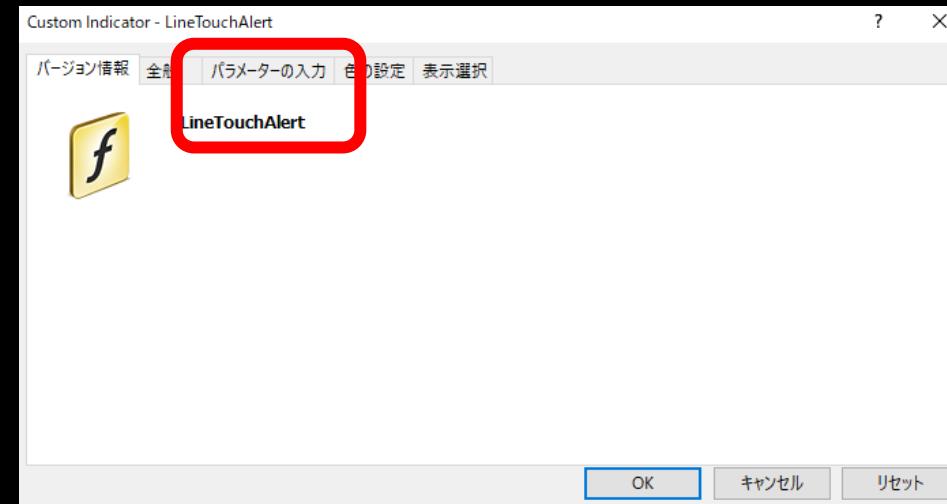
- 続いて、稼働したい通貨ペアのチャートを選択してチャート上部の「表示」→「ナビゲーター」をクリックします。
- 表示されたナビゲーターから「エキスパート」にある「Orli_ISL v3」を選択して、クリックしながらチャートへマウスを動かして（コピー＆ドラッグ）チャートに適用します。



稼働編

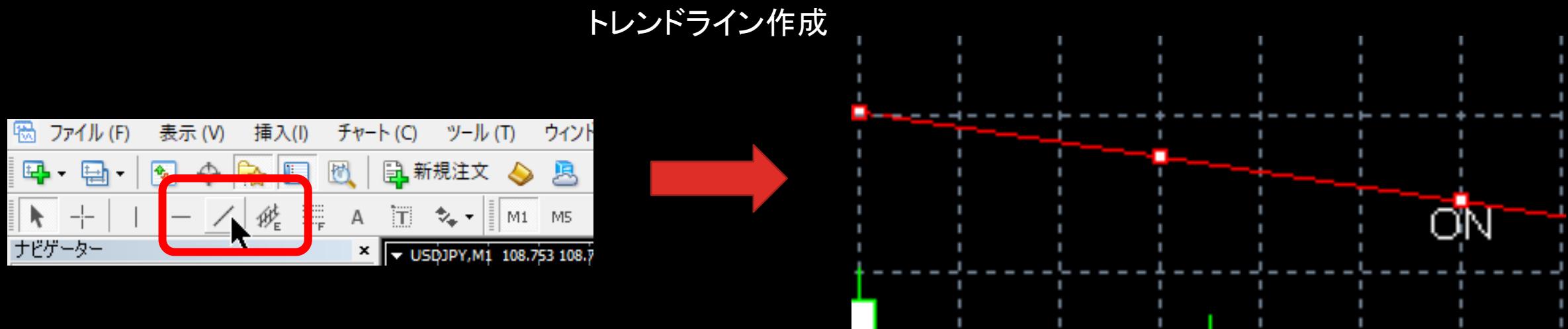
導入画面

- ・チャートへ導入が成功すると以下の画面が表示されます。
- ・「OK」をクリックします。



導入画面 正常な場合

- チャートへ適用が成功するトレンドラインを作成するとタッチアラート対象のラインになります。



パラメータ設定の説明

LineTouchAlertでは4つの設定項目があります。

①アラート機能

タッチ時のアラートのON/OFFの設定します。

②サウンド機能

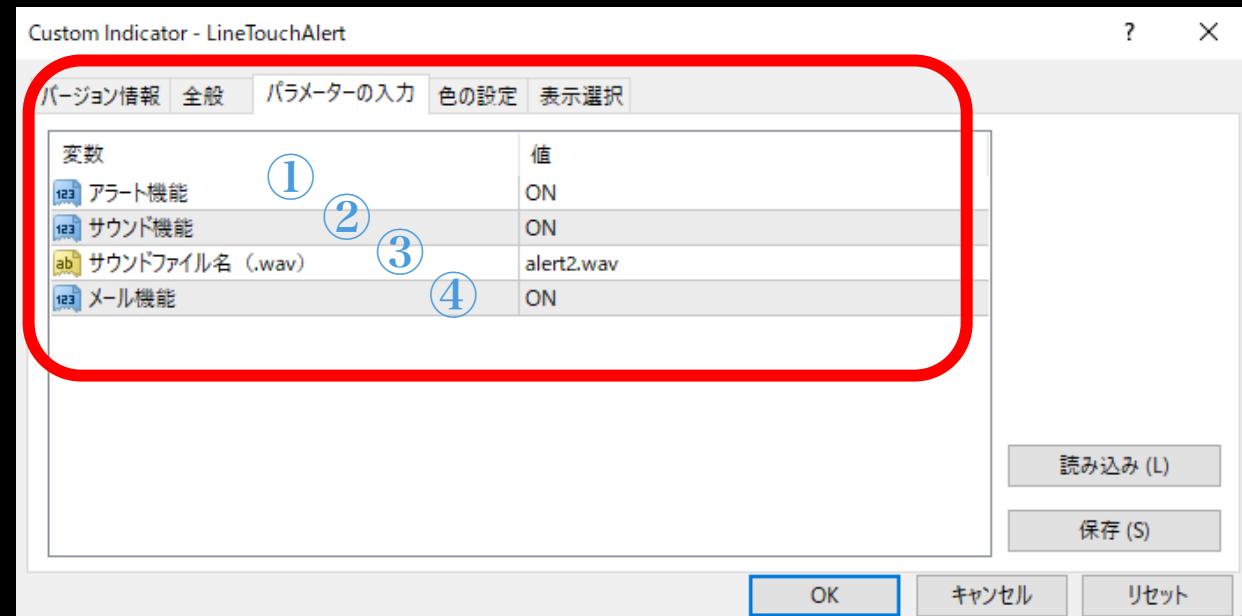
タッチ時のサウンドのON/OFFの設定します。

③サウンドファイル名

サウンドファイルを設定します。

④メール機能

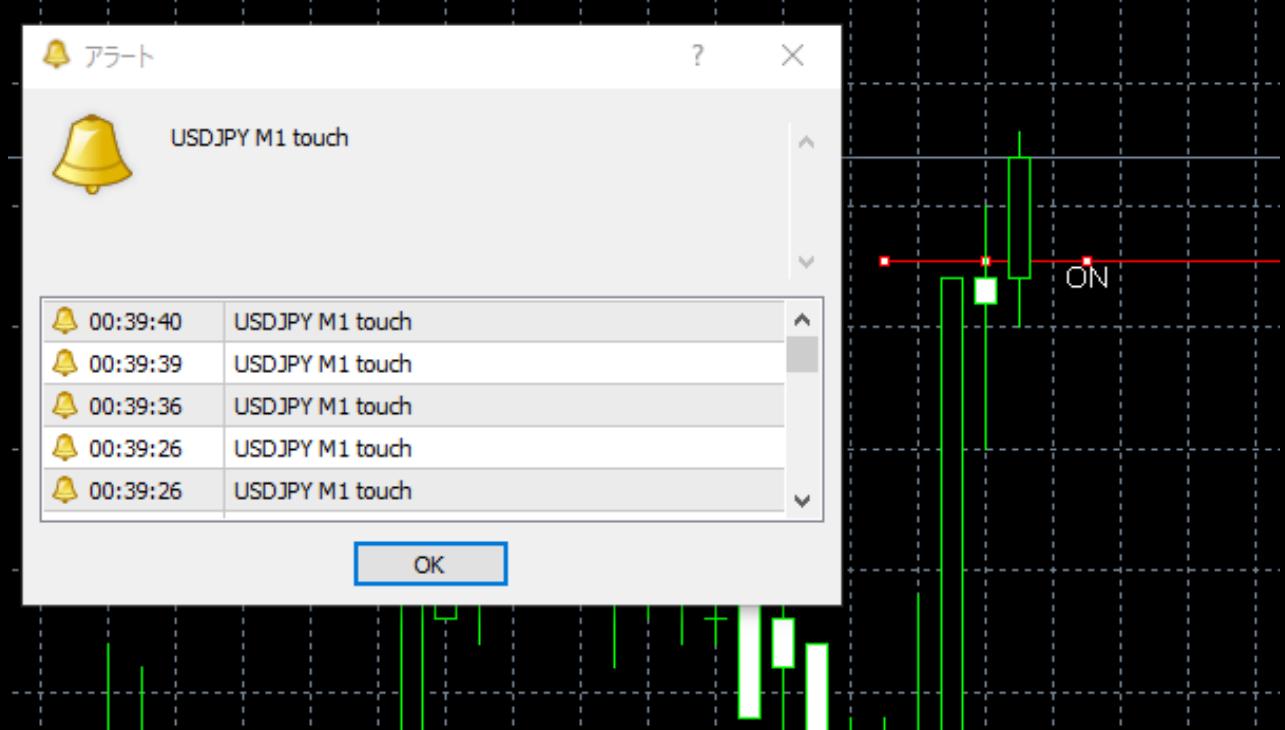
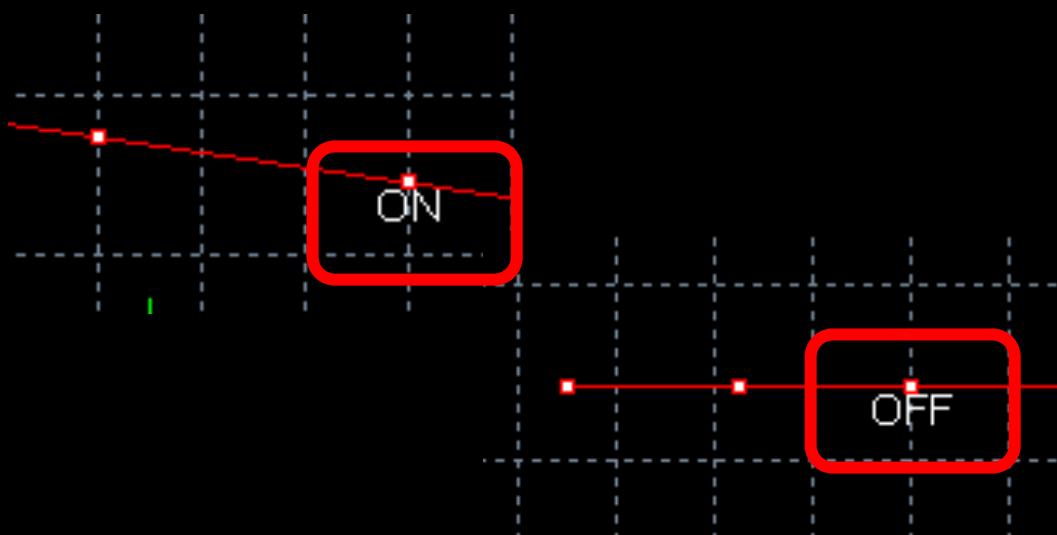
ONにするとタッチ時にメール送信します。



ラインタッチの使い方

ラインタッチ

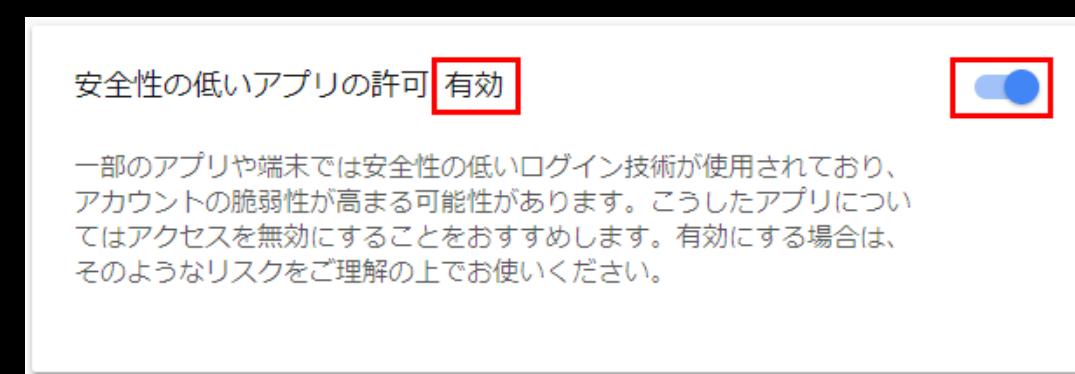
- ・画像のように口ウソク足がラインを超えてい
るときにアラートが表示します。
- ・ラインの「ON」をクリックすると「OFF」にな
り、タッチアラート機能対象外になります。



メール設定

メール送信設定 安全性の低いアプリの許可の設定方法

- 「安全性の低いアプリの許可」が無効になつているとMT4でメールを送ることが出来ないです。
- 「安全性の低いアプリの許可」を有効にするとMT4でメールを送ることが出来るようになります。



メール送信設定 手順 1

- まず受信したいGmailアカウントを用意します。
- 以下のアドレスを開きます。

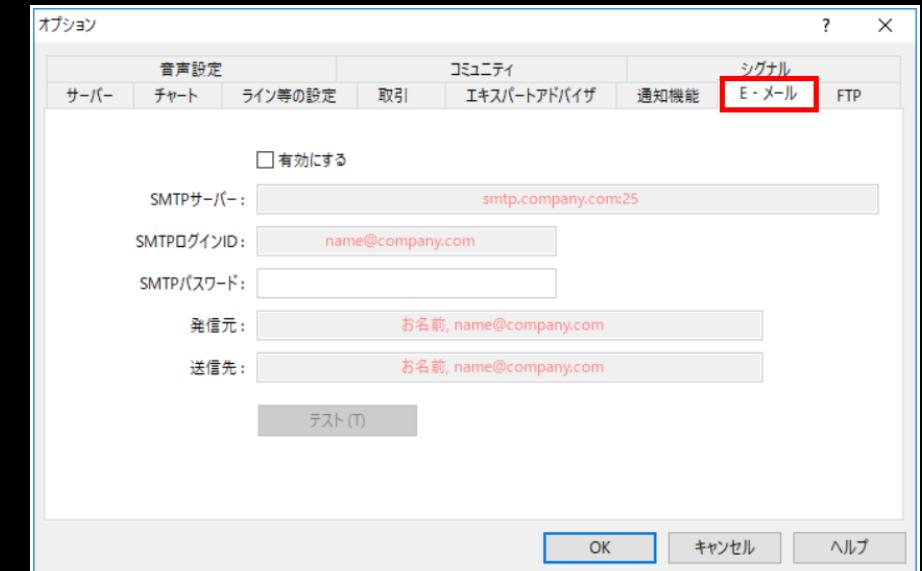
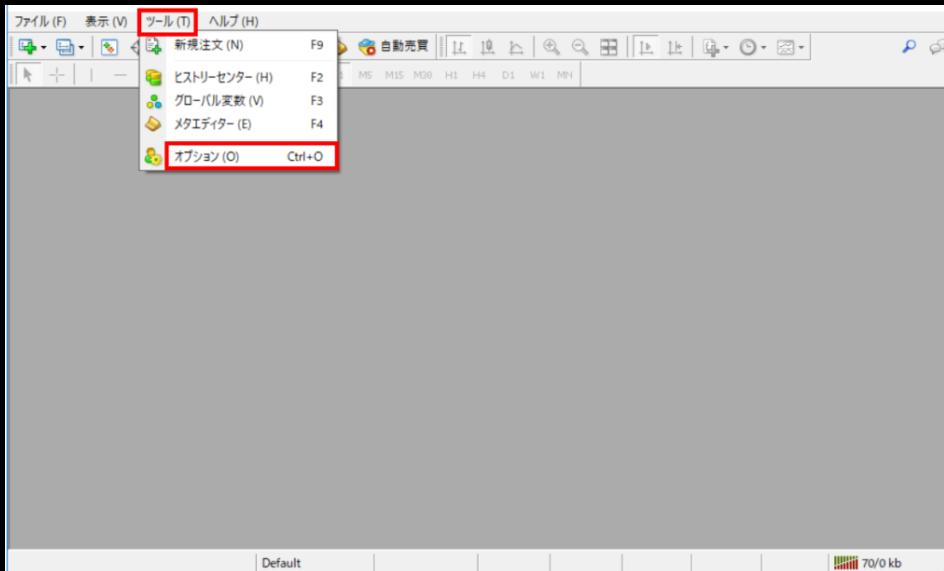
[https://www.google.com/settings/u/2/
security/lesssecureapps](https://www.google.com/settings/u/2/security/lesssecureapps)

- テストメールが届いたら設定完了です。
- 「オンにする」にチェックを入れてください。（設定が反映されるまで若干のタイムラグがあるようです）



メール送信設定 手順 2

- MT4上部の「ツール」→「オプション」
→「E-メール」タブを選択します。
- 「有効にする」にチェックします。



メール送信設定 手順 3

- ・ SMTPサーバー ⇒ smtp.gmail.com:465
- ・ SMTPログインID ⇒ Gmailのメールアドレス
- ・ SMTPパスワード ⇒ Gmailのパスワード
- ・ 発信元 ⇒ 送信メールアドレス (Gmailアドレス)
- ・ 送信先 ⇒ 送信先のメールアドレス (Gmailでなくてもよい)

を設定して下さい。テストボタンをクリックしてテストメールの送信が成功すれば設定はOKです。

※ 「安全性の低いアプリの許可」が無効になっている場合は、「Mail: login to smtp.gmail.com:465 failed」のようなエラー（ログイン失敗）が出てメールが送れないようです。

